「流れのほとり」　　＜先週の講壇より＞

「主の教えを愛し その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。
ときが巡り来れば実を結び 葉もしおれることがない。」 詩篇 1:2～3【新共同訳】

イスラエル旅行に行きますと、緑豊かで果樹園も多く、とても美しい国だと感じます。でも実際にはそこは中東ですので、荒野が続き、赤茶けた大地が広がっているはずです。それではなぜイスラエルが緑豊かなのか、それは植樹をしているからです。国を緑豊かにするために、そして農作物が豊富に採れるようにするため、植樹に励んでいます。そして水をまき、育てることによって、緑豊かで作物が採れる国を保っているそうです。

流れのほとりに植えられるということは、そういうことです。イエス様という流れのほとりに私自身が植えられ続け、その水をたっぷりと受けながら生きていく時に、やがて永遠という実を結ぶことが出来る。だからこの人生は決して枯れることがないのです。

オレンジ郡教会　牧師 榊原のぶ

≪ 主 の 祈 り ≫

天にまします我らの父よ。 願わくは御名を崇めさせ給え。 御国を来たらせ給え。 みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。 我らの日用の糧を今日も与え給え。 我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。 国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

≪ 使 徒 信 条 ≫。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。 主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。 かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を超える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2026 年 9 月 27 日

おれんじ range郡キリスト教会

礼拝：9 時半～
聖書の学び：11 時～

榊原のぶゆき牧師
(714) 827 – 6244　nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ：www.occc.org

[教会年間聖句]

「わたしたちにも
祈ることを教えてください」
ルカ１１：１

☆集会案内☆

日曜礼拝　：　09:30-10:30
聖書クラス：　10:45-11:45
現在第四または第五週
第一と第三は祈り会／初心者クラス